

平成23年度

事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

目 次

1 学 校 法 人 の 概 要

I / 建学の精神	1
II / 学校法人の沿革	
III / 学校法人が設置する学校、附属施設等（平成23年5月1日現在）	
IV / 所在地一覧	
V / 役員等一覧（平成24年5月30日現在）	
VI / 教職員数（平成23年5月1日現在）	
VII / 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数などの状況（平成23年5月1日現在）	
VIII / 平成24年度入試の状況	
IX / 平成23年度卒業等の状況	
X / 就職・進学状況	

2 事 業 の 概 要

	5
--	---

3 財 務 の 概 要

I / 平成23年度収支総括表	7
II / 平成23年度消費収支総括表	
III / 貸借対照表	
IV / 財産目録	
V / 経年比較（平成19年度～23年度）	
VI / 主な財務比率（平成19年度～23年度）	
VII / 監査報告書	

1 学校法人の概要

I. 建学の精神

1. 建学の理念

人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する

2. 教育目標

豊かな人間性の錬成とすぐれた工業技術者の育成

3. モットー

人を育て技術を拓く

4. 目的（行動する目標）

- (1) 国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者の育成
- (2) 未知の分野に立ち向かうことの出来る気力と自信を持った技術者の育成
- (3) 世界に向かって「夢」を発信する西日本工業大学の建設

5. 教育方針

- (1) 徳育を最重要課題とし、知育、体育がこれを助ける教育の実施
- (2) 産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家の育成
- (3) 学生の長所を伸ばすきめ細かな教育の実現

II. 学校法人の沿革

昭和 27 年	学校法人九州工業学園設立
昭和 42 年	西日本工業大学開学 設置学部学科 工学部 機械工学科、電気工学科 定員各 80 名 (場所：福岡県京都郡苅田町大字新津 1633 番地) 初代学長 嘉村 平八 就任 二代学長 大倉 三郎 就任
昭和 43 年	工学部 土木工学科、建築学科を設置 定員各 40 名
昭和 46 年	工学部 土木工学科、建築学科の定員変更 定員各 80 名
昭和 52 年	三代学長 有田 一壽 就任 四代学長 許斐 貢 就任
昭和 53 年	学園分離により学校法人西日本工業学園と改称 (場所：福岡県京都郡苅田町新津一丁目 11-1) 初代理事長 有田 一壽 就任
昭和 63 年	五代学長 井上 順吉 就任
平成 4 年	工学部 臨時入学定員増（平成 4 年度から平成 11 年度まで） 機械工学科 130 名、電気工学科 140 名、建築学科 110 名
平成 5 年	六代学長 岡部 淳一 就任
平成 9 年	工学部 編入学定員を設定 機械工学科 4 名、電気工学科 5 名を、土木工学科 2 名、建築学科 2 名
平成 10 年	七代学長 坂田 弘 就任
平成 11 年	二代理事長 入江 伸明 就任
平成 12 年	工学部の定員変更 機械工学科 100 名、電気工学科 80 名を 110 名、建築学科 100 名、及び臨時定員増の延長認可（平成 15 年度まで）
平成 14 年	八代学長 坂本 正史 就任
平成 15 年	工学部 学科名称の変更 機械工学科を機械システム工学科に、電気工学科を電気電子情報工学科に、土木工学科を環境都市デザイン工学科に変更
平成 16 年	工学部 情報デザイン学科を新設 定員 75 名、3 年編入学 5 名 工学部の定員変更 機械システム工学科 90 名（3 年編入 2 名）、電気電子情報工学科 90 名（3 年編入 2 名）、環境都市デザイン工学科 60 名、建築学科 75 名 小倉にサテライトキャンパス開設（平成 18 年まで） 大学院工学研究科修士課程（生産・環境システム専攻）を開設 定員 10 名

平成 18 年	学校法人西日本工業学園の所在地変更 (場所：福岡県北九州市小倉北区室町一丁目 2-11) 小倉キャンパス開校 (場所：福岡県北九州市小倉北区室町一丁目 2-11) デザイン学部 建築学科、情報デザイン学科を開設 定員各 75 名、3 年編入学 2 名、5 名 工学部 建築学科、情報デザイン学科の募集停止 工学部入学定員の変更 機械システム工学科 110 名、環境都市デザイン学科 40 名
平成 19 年	工学部学科名称の変更 環境都市デザイン工学科を環境建設学科へ変更
平成 20 年	三代理事長 鹿田 磨樹 就任
平成 21 年	九代学長 菊池 重昭 就任 大学院・地域連携センターを開設 (場所：福岡県北九州市小倉北区大門 1 丁目 5-1) 小倉学生会館を開設 (場所：福岡県北九州市小倉北区室町 3 丁目 3 - 11) 工学部学科を改組 総合システム工学科 (定員 165 名、3 年編入学 4 名)、デジタルエンジニアリング学科 (定員 75 名、3 年編入学 2 名) を設置 工学部 機械システム工学科、電気電子情報工学科、環境建設学科の募集停止

Ⅲ．学校法人が設置する学校、付属施設等 (平成23年5月1日現在)

学 校	学部・研究科	学科名	摘 要
西日本工業大学	工学部	総合システム工学科	
		デジタルエンジニアリング学科	
		機械システム工学科	平成 21 年 4 月 募集停止
		電気電子情報工学科	平成 21 年 4 月 募集停止
		建築学科	平成 18 年 4 月 募集停止
		環境建設学科	平成 21 年 4 月 募集停止
	デザイン学部	建築学科	
		情報デザイン学科	
	大学院 工学研究科	修士課程 (生産・環境システム専攻)	

付属施設等	
情報科学センター	
総合実験実習センター	
地域連携センター	
小倉学生会館	学生寮、食堂他

Ⅳ．所在地一覧 (平成23年5月1日現在)

施 設 名 等	所 在 地	電話番号
学校法人 西日本工業学園	〒 803-8787 北九州市小倉北区室町 1 丁目 2 - 11	093-563-2228
西日本工業大学おばせキャンパス	〒 800-0394 福岡県京都郡苅田町新津 1 丁目 11 - 1	0930-23-1491
西日本工業大学小倉キャンパス	〒 803-8787 北九州市小倉北区室町 1 丁目 2 - 11	093-563-2221
地域連携センター	〒 803-0811 北九州市小倉北区大門 1 丁目 5 - 1	093-563-3221
小倉学生会館	〒 803-0812 北九州市小倉北区室町 3 丁目 3 - 11	093-581-6181

V. 役員等一覧 (平成24年5月30日現在)

【役員】理事：定数 5～7名 現員 7名、監事：定数 2名 現員 2名

役 職	氏 名	常・非常勤の別	選任区分	摘 要	
理事長	鹿田 磨 樹	常 勤	2号(評議員)	平成14年10月	理事就任
				平成20年3月	理事長就任
副理事長	菊 池 重 昭	常 勤	1号(学長)	平成21年4月	理事就任(西日本工業大学学長)
理 事	桑 原 豪 士	非常勤	2号(評議員)	平成17年12月	理事就任
理 事	西 村 韶 道	非常勤	3号(学識経験者)	平成19年9月	理事就任(TOTO(株)顧問)
理 事	小 嶋 一 碩	非常勤	3号(学識経験者)	平成20年3月	理事就任(株)千草代表取締役
理 事	中 野 昌 治	非常勤	3号(学識経験者)	平成21年5月	理事就任(弁護士)
理 事	原 田 康	非常勤	3号(学識経験者)	平成22年4月	理事就任(株)ゼンリン相談役
監 事	永 山 猛 彦	常 勤	—	平成22年4月	監事就任
監 事	松 田 融	非常勤	—	平成23年4月	監事就任(公認会計士)

【評議員】 (単位：人)

選任区分	定 数	現 員
1号 法人職員	3～4	4
2号 卒業生	1	1
3号 学識経験者	7～11	11
合 計	11～16	16

VI. 教職員数一覧 (平成23年5月1日現在) (単位：人)

教 員	132	(うち本務 59、 うち兼務 73)
職 員	53	(うち本務 49、 うち兼務 4)

VII. 設置する学校・学部・学科等の入学定員・学生数などの状況 (平成23年5月1日現在)

【学 部】 (単位：人)

学 部	区 分	学 科 名	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
工 学 部	定 員	総合システム工学科	165	165	169	-	499
		デジタルエンジニアリング学科	75	75	77	-	227
		機械システム工学科	-	-	-	112	112
		電気電子情報工学科	-	-	-	92	92
		環境建設学科	-	-	-	42	42
		建築学科	-	-	-	-	-
		計	240	240	246	246	972
	現 員	総合システム工学科	191	208	139	-	538
		デジタルエンジニアリング学科	46	48	52	-	146
		機械システム工学科	-	-	-	92	92
		電気電子情報工学科	-	-	1	71	72
		環境建設学科	-	-	-	28	28
		建築学科	-	-	-	4	4
		計	237	256	192	195	880
デザイン学部	定 員	建築学科	75	75	77	77	304
		情報デザイン学科	75	75	80	80	310
		計	150	150	157	157	614
	現 員	建築学科	70	63	62	87	282
		情報デザイン学科	61	82	71	77	291
		計	131	145	133	164	573
合 計		定 員	390	390	403	403	1,586
		現 員	368	401	325	359	1,453

【大学院 工学研究科（修士）】

（単位：人）

専攻	区分	1年	2年	合計
生産・環境システム専攻	定員	10	10	20
	現員	24	14	38

Ⅷ．平成24年度入試の状況

【学部】

（単位：人）

学部・学科名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
総合システム工学科	165	327	321	311	201
デジタルエンジニアリング学科	75	58	58	60	52
工学部 計	240	385	379	371	253
建築学科	75	117	114	113	72
情報デザイン学科	75	69	68	67	49
デザイン学部 計	150	186	182	180	121
総合計	390	571	561	551	374

【大学院 工学研究科（修士）】

（単位：人）

専攻名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
生産・環境システム専攻	10	14	14	11	10

Ⅸ．平成23年度卒業等の状況

【学部卒業生数】

（単位：人）

学部・学科	平成23年度	総数
工学部	158	14,508
機械システム工学科	72	-
電気電子情報工学科	61	-
環境建設学	25	-
デザイン学部	137	420
建築学科	75	-
情報デザイン学科	62	-
計	295	14,928

【大学院修了者数】

（単位：人）

工学研究科	平成23年度	総数
生産・環境システム専攻	12	91

Ⅹ．就職・進学状況

1) 就職内定率について（平成24年3月31日現在）

就職希望者比	93.5%（前年度 93.5%）
卒業生比（卒業生数－進学希望者数）	76.5%（前年度 79.7%）

2) 大学院への進学状況について

本学9名、九州大学1名、大分大学1名、大阪市立大学1名、北九州市立大学1名、早稲田大学1名 計14（前年度25名）
--

3) 大企業への内定者について（大企業の定義：資本金3億円以上及び従業員数300名以上）

○機械システム工学科：アップルジャパン、住友金属小倉、九電工、神戸製鋼、等に 計11名
○電気電子情報工学科：きんでん、中電工、日本電産、三菱ビルテクノサービス、等に 計15名
○環境建設学科：奥村組土木工業、前田道路、等に 計3名
○建築学科：前田建設工業、若築建設、福田組、東日本ハウス、YKKAP、等に 計13名
○情報デザイン学科：TOTOエンジニアリング、コスモス薬品、大和冷機工業、等に 計7名

2 事業の概要

懸念された東日本大震災の大学経営への影響は、本学では軽微なものとなりました。経営の基盤となる学生募集では、平成24年度入試での入学生数は前年度から微増となりましたが、依然一部の学科において大幅定員割れとなっており、全体でも定員に後一步の結果となりました。一方、就職の状況は、厳しい環境下ではありましたが、前年度並みを確保しました。

平成23年度は健全な財務状況の維持に留意しつつ、教育施設や学生支援の充実、そして地域貢献のための事業等を実施してまいりましたが、その概要は次のとおりです。

1) おおせキャンパスリニューアル事業

平成23年12月21日(水)に本学の「おおせキャンパス」で、おおせキャンパス新本館建設工事の起工式が執り行われ、工事が本格化しました。本体の完成は本年11月、解体、外構工事の完了が来年3月の予定です。食堂や図書館が刷新されて、学生サービスが向上するばかりでなく、エコキャンパスとして管理経費が削減されることが期待されます。

2) 国際教育センターの設置

平成23年9月に海外教育機関との学術交流等の国際教育に関わる業務を担当する国際教育センターを設置しました。当センターが中心となって、本学の国際教育の充実を図るとともに、外国人留学生の募集や学生生活の支援を強化します。

3) 奨学金制度の改正

厳しい経済環境を背景に、経済的な困難を抱える学生への支援の必要性が高まっていることに対応するため、従来の奨学金制度の一部を下記の制度に改正しました。「継続サポート」は平成24年度から、「就学サポート」と「地域サポート」は平成25年から施行する予定で、学生支援体制を強化します。

制度名	定員	特典
奨学生(就学サポート)	70名	4年間の授業料半額免除
奨学生(地域サポート)	20名	4年間の教育充実費免除
奨学生(継続サポート)	10名	半期の学費支給

4) SD(スタッフディベロップメント)研修会の開催

本学と九州国際大学、九州栄養福祉大学、西南女学院大学の4大学で、合同SD研修会を開催いたしました。この事業は、北九州市の学術・研究振興事業大学連携促進助成金を受けて実施しており、1泊2日のワークショップ型研修や他大学の視察研修、講演型研修の3つの研修を実施しました。また、講演型研修は、教育評論家の尾木直樹氏を講師に招き、一般の聴講希望者も参加して開催されました。

本学では、平成24年度からSD委員会を設置して、SDの組織的な取組みを推進し、事務職員のさらなる資質向上を目指します。

5) リノベーションスクールの開催

8月27日から4日間、小倉キャンパスの大学院・地域連携センターで、遊休不動産の再生について学ぶ講座「北九州リノベーションスクール」が開催されました。このスクールでは、都心部の空きビルなどの遊休不動産を活用したリノベーションを推進し、都市型ビジネスの集積を進めている北九州市と、リノベーションの専門家集団であるHEAD研究会を中心に、本学も共催して、全国初の試みとして開催されました。講義では、実際の空きビルをモデルとして、具体的なリノベーションのプランづくりなどを実体験する実践的な内容の他、受講生(定員30名)以外にも自由に参加できる、「市民講座」や「公開審査」も組み込まれ、リノベーションや建築分野における国内最高レベルの講師陣による講義を聴講することができました。

6) 公開連続セミナー「デザイン 建築と現在」の開催

本学の学長査定特別教育研究事業の一環で公開連続セミナーが開催されました。今年度は、7月8日に西田司氏、10月22日に五十嵐淳氏、11月17日に藤本壮介氏の世代を代表する建築家諸氏を招いて開催され、参加者は本学や他大学の教員や学生、一般市民の他、行政関係者や高校生など幅広い受講者が集まり、各セミナー共に大教室が満席になるほど盛況でした。また、このセミナーは、本学、九州工業大学及び北九州市立大学の建築を学ぶ学生で結成されている「学生団体tonica」がスタッフとして運営に参加しており、地域貢献と教育を兼ね備えたセミナーとして継続、発展することを目指しています。

7) 国際環境 ESD フォーラムシンポジウムの開催

平成22年度に日・中・韓の3大学で結成した「東アジア環境人材育成コンソーシアム」の一環として、11月4日に中国の河海大学文天学院で「国際環境 ESD フォーラム2011」が開催され、本学から学長他環境 ESD プログラムの関係者が参加しました。また、2月14日に韓国の新羅大学校で本学との日韓環境 ESD シンポジウムが開催され、本学の教職員、学生40名が参加し、学術・文化交流が行われました。さらに、平成24年度は、本学主催による「国際環境 ESD フォーラム2012」が小倉キャンパスで開催される予定です。

8) 地域との交流について

平成23年度も学生が地域のイベントやボランティア活動に積極的に参加しました。小倉キャンパスの恒例行事となった「北九州ひまわり駅伝」では、参加当初からの目標であった優勝を飾ることができ、「わっしょい百万夏祭り」の百万踊りでは、ハッスル賞を受賞するなど、地域のイベントで活躍しました。また、学生ボランティア団体3Rの室町商店街とのイベント運営や、行橋警察署と連携した防犯パトロール「にこにこ隊」の町内パトロール活動、小倉キャンパス「おひさま隊」による清掃活動など、学生の地域貢献活動も推進しています。

9) 行橋駅前広場イルミネーションリニューアル事業で工学部とデザイン学部の学生がコラボ

JR 行橋駅前広場のイルミネーションリニューアル事業に、本学の工学部とデザイン学部の学生が参加しました。この事業は、本学が行橋市から協力依頼を受け、本学のデザイン学部の学生がデザイン及び設計を担当し、工学部の学生がLED電球の取り付けや配線工事などを地元企業の指導を受けながら施工しました。9月下旬から作業に取りかかり、12月1日の点灯式では、街路樹やモニュメントに取り付けられた3万個のLED電球が一斉に点灯し、行橋駅前広場に華やかで幻想的な空間が現れ、集まった市民から歓声が起こりました。また式典では、代表の学生に行橋市長並びに行橋市電設協力会会長から感謝状が贈呈されました。

10) クラブ・サークル活動

平成23年度も次のとおり九州地区の大会などで優秀な成績を残しました。

○バレーボール部

九州大学バレーボール男子1部リーグ 春季・秋季大会優勝(連覇)

○ソフトテニス部

全九州学生ソフトテニスリーグ大会 春季・秋季大会(男子団体)3位

第40回全九州学生選抜ソフトテニスインドア選手権大会(男子個人)3位

○弓道部

第49回九州学生弓道選手権大会(女子個人)2位

○陸上競技部

第66回九州陸上競技選手権大会

男子400mリレー 優勝、男子100m 優勝、男子走幅跳び2位

第61回九州地区大学体育大会

男子400mリレー 優勝、女子400mリレー3位、男子100m 優勝・2位、女子100m H・400m 3位

○ボウリング部

平成23年度九州学生春季リーグ(男子個人)優勝・2位

3 財務の概要

当期の財務の状況について、その概況を報告致します。

I. 平成23年度 収支総括表

1. 資金収支総括表

(単位 千円)

収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	1,720,000	1,742,569	△	22,569
手数料収入	21,000	23,119	△	2,119
寄付金収入	19,000	17,090		1,910
補助金収入	317,300	360,349	△	43,049
国庫補助金収入	317,300	346,908	△	29,608
地方公共団体補助金収入	0	13,441	△	13,441
資産運用収入	90,000	89,889		111
資産売却収入	800	800		0
事業収入	45,000	37,739		7,261
雑収入	143,600	148,803	△	5,203
小計	2,356,700	2,420,358	△	63,658
借入金等収入	1,000,000	1,000,000		0
前受金収入	202,195	204,507	△	2,312
その他の収入	223,758	216,046		7,712
資金収支調整勘定	△ 359,161	△ 373,009		13,848
前年度繰越支払資金	2,102,740	2,102,740		
収入の部合計	5,526,232	5,570,642	△	44,409
支出の部				
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	1,078,047	1,060,645		17,403
教育研究経費支出	867,914	803,070		64,845
管理経費支出	182,339	171,499		10,840
施設関係支出	343,000	330,653		12,347
設備関係支出	61,550	50,069		11,481
小計	2,532,850	2,415,935		116,915
資産運用支出	301,020	677,268	△	376,248
その他の支出	145,152	134,101		11,051
〔予備費〕	14,698			14,698
資金支出調整勘定	△ 39,526	△ 36,767	△	2,759
次年度繰越支払資金	2,572,038	2,380,104		191,934
支出の部合計	5,526,232	5,570,642	△	44,409

当初見込みより、学生生徒等納付金及び補助金が増加しました。

おばせ本館新築事業資金として私学事業団より10億円借入しました。

予算執行段階より、節減に努め、当初見込みより支出が少なくなりました。

資金効率を高めるため、現預金から、有価証券等を購入しました。

有価証券購入等により、当初見込みより翌年度繰越支払資金が減少しました。

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入
2. 資産運用の特定資産(預金)については収支相殺

2. 消費収支総括表

(単位 千円)

消費収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金	1,720,000	1,742,569	△	22,569
手数料	21,000	23,119	△	2,119
寄付金	19,000	18,592		408
補助金	317,300	360,349	△	43,049
国庫補助金	317,300	346,908	△	29,608
地方公共団体補助金	0	13,441	△	13,441
資産運用収入	90,000	89,889		111
資産売却差額	4,699	4,745	△	46
事業収入	45,000	37,739		7,261
雑収入	143,600	148,803	△	5,203
帰属収入合計	2,360,599	2,425,804	△	65,205
消費収入の部合計	2,360,599	2,425,804	△	65,205
消費支出の部				
科目	予算	決算	差異	
人件費	1,035,800	1,007,613		28,187
教育研究経費	1,233,914	1,168,920		64,994
(うち、減価償却額)	(366,000)	(365,851)	(	149)
管理経費	191,539	180,592		10,947
(うち、減価償却額)	(9,200)	(9,093)	(	107)
資産処分差額	90,103	166,449	△	76,346
徴収不能額	7,618	7,618		0
徴収不能引当金繰入金	13,270	13,270		0
〔予備費〕	2,305			2,305
消費支出の部合計	2,574,548	2,544,462		30,086
当年度消費支出超過額	213,949	118,657		
前年度繰越消費支出超過額	861,783	861,783		
基本金取崩額	20,000	15,819		
翌年度繰越消費支出超過額	1,055,732	964,621		

支出抑制などにより、当年度帰属収支差額は改善しました。

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入

Ⅱ. 平成23年度 消費収支総括表(前年度比)

(単位 千円)

消費収入の部				
科 目	平成23年度決算	平成22年度決算	増	減
学生生徒等納付金	1,742,569	1,750,181	△	7,612
手数料	23,119	22,807		312
寄付金	18,592	19,523	△	931
補助金	360,349	339,307		21,041
国庫補助金収入	346,908	338,079		8,829
地方公共団体補助金収入	13,441	1,228		12,212
資産運用収入	89,889	79,013		10,876
資産売却差額	4,745	0		4,745
事業収入	37,739	37,296		443
雑収入	148,803	86,540		62,263
帰属収入合計	2,425,804	2,334,666		91,138
消費収入の部合計	2,425,804	2,334,666		91,138
消費支出の部				
科 目	平成23年度決算	平成22年度決算	増	減
人件費	1,007,613	1,191,588	△	183,975
教育研究経費	1,168,920	1,178,268	△	9,347
(うち、減価償却額)	(365,851)	(388,806)	(△22,956)	
管理経費	180,592	188,213	△	7,621
(うち、減価償却額)	(9,093)	(9,898)	(△805)	
資産処分差額	166,449	52,561		113,888
徴収不能額	7,618	8,469	△	851
徴収不能引当金繰入額	13,270	2,960		10,310
[予 備 費]	0			0
消費支出の部合計	2,544,462	2,622,057	△	77,596
当年度消費支出超過額	118,657	287,391		
前年度繰越消費支出超過額	861,783	597,610		
基本金取崩額	15,819	23,219		
翌年度繰越消費支出超過額	964,621	861,783		

私学事業団及び地方公共団体からの補助金が増加しました。

資産運用の結果、受取利息配当金が増加しました。

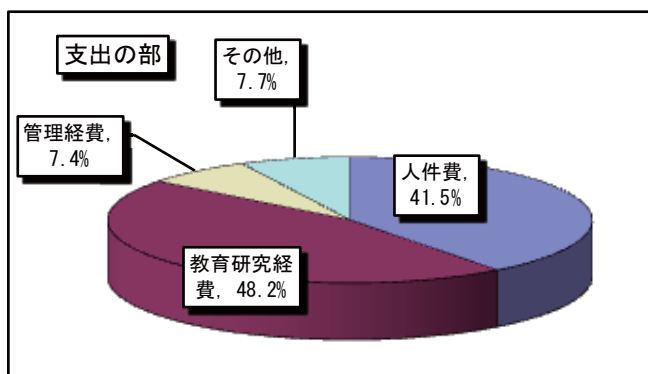
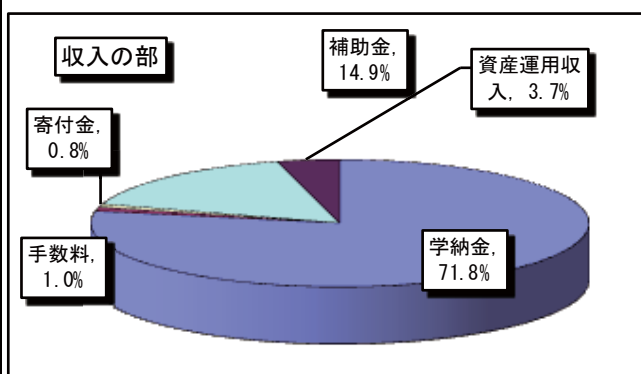
私学退職金財団交付金の収入増加です。

おばせ本館新築工事に伴う建物取り壊し費用及び、その減価償却減額分です。

おばせ本館新築事業に伴う建物除却差額及び有価証券処分差額です。

(注) 千円未満は個々に四捨五入

平成23年度 財務比率(帰属収入を100とした場合の比率)



Ⅲ. 貸借対照表

平成24年 3月31日

(単位 千円)

資 産 の 部				
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減	
固 定 資 産	11,330,516	11,274,312	56,204	
有 形 固 定 資 産	8,182,543	8,259,110	△ 76,567	
土 地	1,269,131	1,269,131	0	
建 物	5,492,715	5,842,365	△ 349,650	
構 築 物	114,342	135,452	△ 21,111	
教育研究用機器備品	254,996	285,039	△ 30,043	
図 書	664,949	666,535	△ 1,586	
建 設 仮 勘 定	329,927	0	329,927	
そ の 他	56,483	60,587	△ 4,104	
その他の固定資産	3,147,973	3,015,202	132,770	
長 期 貸 付 金	10,123	18,061	△ 7,937	
減価償却引当特定資産	2,100,000	2,100,000	0	
退職給与引当特定資産	577,390	630,422	△ 53,032	
有価証券及び定期預金	401,000	202,280	198,720	
そ の 他	59,459	64,439	△ 4,980	
流 動 資 産	3,162,028	2,394,195	767,833	
現 金 預 金	2,380,104	2,102,740	277,364	
未 収 入 金	165,471	77,700	87,771	
短 期 貸 付 金	5,015	3,970	1,045	
有 価 証 券	602,831	201,020	401,811	
そ の 他	8,607	8,765	△ 158	
合 計	14,492,544	13,668,507	824,037	

おばせ本館新築事業に伴い、一部校舎等を取り壊したため、資産が減少しました。

退職給与引当金と同額となるよう特定資産を取崩しました。

おばせ本館新築事業資金に充てるため、私学事業団より借入を行いました。

本年度は私学退職金財団の準備金取崩しによる補填と退職金に充当する金額が減少したためです。
なお、退職給与引当計上基準は前年度より100%となっています。

本年度に増加した消費支出超過額です。

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部				
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減	
固 定 負 債	1,577,390	630,422	946,968	
長 期 借 入 金	1,000,000	0	1,000,000	
退 職 給 与 引 当 金	577,390	630,422	△ 53,032	
流 動 負 債	326,820	331,094	△ 4,274	
短 期 借 入 金	0	0	0	
前 受 金	204,507	202,195	2,312	
そ の 他	122,313	128,899	△ 6,586	
負 債 の 部 合 計	1,904,210	961,516	942,694	
第 1 号 基 本 金	13,387,955	13,403,774	△ 15,819	
第 4 号 基 本 金	165,000	165,000	0	
基 本 金 の 部 合 計	13,552,955	13,568,774	△ 15,819	
翌年度繰越消費支出超過額	964,621	861,783	102,838	
消費収支差額の部合計	△ 964,621	△ 861,783	△ 102,838	
負 債 , 基 本 金 , 消費収支差額の合計	14,492,544	13,668,507	824,037	

【参考】

正 味 財 産	12,588,334	12,706,991	△ 118,657	
---------	------------	------------	-----------	--

- (注) 1. 千円未満は個々に四捨五入
2. 減価償却累計額の合計額 5,205,412千円(前年度5,144,664千円)
3. 徴収不能引当金計上額 16,410千円(未収入金等の徴収不能に備えるため)
4. 担保に供されている資産 土地: 379,970千円 建物: 2,932,762千円
5. 退職給与引当金の額の算定方法は、期末要支給額721,725千円の100%を基にして、私立大学退職金財団掛金・交付額との差額を加減した金額を計上
6. 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次の通り
リース料総額49,333千円 未経過リース料期末残高8,411千円
7. 減価償却引当資産・退職給与引当特定資産及び有価証券のうち、有価証券保有金額は3,207,494千円で、年度末の時価総額は2,865,067千円であり、計上総額より時価額が342,427千円下回っている
8. 本学園が債務保証を行っているものは教職員の銀行借入金2,423千円
9. 正味財産は、資産の部合計－負債の部合計の金額

IV. 財 産 目 録

I. 資産総額	14,492,544 千円
内、（一）基本財産	8,237,384 千円
（二）運用財産	6,255,160 千円

II. 負債総額	1,904,210 千円
----------	--------------

III. 正味財産	12,588,334 千円
-----------	---------------

科 目	平成23年度末	
I. 資産額		
一 基本財産		
1 土 地		
おばせキャンパス	142,374 m ²	784,081 千円
小倉キャンパス	996 m ²	485,050 千円
2 建 物		
校舎等(おばせキャンパス)	37,168 m ²	2,950,844 千円
校舎等(小倉キャンパス)	12,503 m ²	2,541,871 千円
3 構築物（おばせキャンパス）		114,342 千円
4 教育研究用機器備品		254,996 千円
5 その他の機器備品		52,895 千円
6 図 書	148,822 冊	664,949 千円
7 建設仮勘定		329,927 千円
8 その他		58,429 千円
計		8,237,384 千円
二 運用財産		
1 現金預金		2,380,104 千円
2 減価償却引当特定資産		2,100,000 千円
3 退職給与引当特定資産		577,390 千円
4 定期預金		300,000 千円
5 有価証券		703,831 千円
6 貸付金		15,138 千円
7 未収入金		165,471 千円
8 その他		13,225 千円
計		6,255,160 千円
合 計		14,492,544 千円
II. 負債額		
一 固定負債		
1 借入金		1,000,000 千円
2 退職給与引当金		577,390 千円
二 流動負債		
1 前受金		204,507 千円
2 その他		122,313 千円
合 計		1,904,210 千円

V. 経年比較(平成19年度～平成23年度)

1. 資金収支総括表

(単位 千円)

収入の部					
科 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学生生徒等納付金収入	1,776,264	1,759,942	1,721,109	1,750,181	1,742,569
手数料収入	22,819	23,090	24,138	22,807	23,119
寄付金収入	25,864	30,400	26,632	15,900	17,090
補助金収入	340,474	331,038	338,627	339,307	360,349
国庫補助金収入	338,738	330,155	337,535	338,079	346,908
地方公共団体補助金収入	1,736	882	1,092	1,228	13,441
資産運用収入	123,868	98,154	78,161	79,013	89,889
資産売却収入	0	326,457	92,690	0	800
事業収入	12,346	8,763	39,472	37,296	37,739
雑収入	109,371	119,678	69,257	86,540	148,803
小 計	2,411,007	2,697,522	2,390,086	2,331,043	2,420,358
借入金等収入	0	0	0	0	1,000,000
前受金収入	187,540	191,287	217,918	202,195	204,507
その他の収入	251,512	204,243	225,232	162,825	216,046
資金収支調整勘定	△ 334,544	△ 310,023	△ 267,454	△ 294,683	△ 373,009
前年度繰越支払資金	1,695,039	2,075,765	1,990,856	2,434,343	2,102,740
収入の部合計	4,210,554	4,858,795	4,556,638	4,835,724	5,570,642
支出の部					
科 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人件費支出	1,140,740	1,046,847	1,019,062	1,029,645	1,060,645
教育研究経費支出	707,052	711,039	731,372	789,461	803,070
管理経費支出	150,398	148,371	171,191	178,315	171,499
施設関係支出	13,860	766,444	9,461	13,545	330,653
設備関係支出	50,536	84,648	38,174	33,523	50,069
小 計	2,062,585	2,757,348	1,969,260	2,044,489	2,415,935
資産運用支出	1,453	55,659	50,000	585,282	677,268
その他の支出	97,908	86,100	140,184	145,376	134,101
資金支出調整勘定	△ 27,157	△ 31,168	△ 37,149	△ 42,163	△ 36,767
次年度繰越支払資金	2,075,765	1,990,856	2,434,343	2,102,740	2,380,104
支出の部合計	4,210,554	4,858,795	4,556,638	4,835,724	5,570,642

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入

2. 資産運用の特定資産(預金)については、収支相殺

2. 消費収支総括表

(単位 千円)

消費収入の部					
科 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
学生生徒等納付金	1,776,264	1,759,942	1,721,109	1,750,181	1,742,569
手数料	22,819	23,090	24,138	22,807	23,119
寄付金	27,700	33,413	26,769	19,523	18,592
補助金	340,474	331,038	338,627	339,307	360,349
国庫補助金	338,738	330,155	337,535	338,079	346,908
地方公共団体補助金	1,736	882	1,092	1,228	13,441
資産運用収入	123,868	98,154	78,161	79,013	89,889
資産売却差額	0	0	12,854	0	4,745
事業収入	12,346	8,763	39,472	37,296	37,739
雑収入	109,371	119,678	69,257	86,540	148,803
帰属収入合計	2,412,843	2,374,078	2,310,389	2,334,666	2,425,804
基本金組入額合計	△ 32,000	△ 451,949	0	0	0
消費収入の部合計	2,380,843	1,922,129	2,310,389	2,334,666	2,425,804
消費支出の部					
科 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
人件費	1,132,930	1,043,796	1,004,095	1,191,588	1,007,613
教育研究経費	1,102,395	1,089,538	1,133,263	1,178,268	1,168,920
(うち、減価償却額)	(393,684)	(378,499)	(401,890)	(388,806)	(365,851)
管理経費	162,642	159,910	180,692	188,213	180,592
(うち、減価償却額)	(12,244)	(11,539)	(9,502)	(9,898)	(9,093)
資産処分差額	0	55,659	50,858	52,561	166,449
徴収不能額	5,515	3,473	2,945	8,469	7,618
徴収不能引当金繰入金	7,200	6,600	6,920	2,960	13,270
消費支出の部合計	2,410,682	2,358,974	2,378,773	2,622,057	2,544,462
当年度消費支出超過額	29,839	436,846	68,384	287,391	118,657
前年度繰越消費支出超過額	159,340	189,179	626,025	597,610	861,783
基本金取崩額	0	0	96,799	23,219	15,819
翌年度繰越消費支出超過額	189,179	626,025	597,610	861,783	964,621

(注) 1. 千円未満は個々に四捨五入

3. 貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部					
科 目	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末
固 定 資 産	11,238,027	11,722,377	11,291,578	11,274,312	11,330,516
有 形 固 定 資 産	8,581,284	9,047,379	8,605,095	8,259,110	8,182,543
土 地	1,348,966	1,348,966	1,269,131	1,269,131	1,269,131
建 物	5,873,427	6,394,229	6,114,848	5,842,365	5,492,715
構 築 物	227,212	192,550	160,181	135,452	114,342
教育研究用機器備品	389,993	380,566	329,303	285,039	254,996
図 書	651,576	658,215	662,629	666,535	664,949
建 設 仮 勘 定	12,128	0	0	0	329,927
そ の 他	77,983	72,854	69,002	60,587	56,483
その他の固定資産	2,656,743	2,674,998	2,686,483	3,015,202	3,147,973
長 期 貸 付 金	10,303	10,676	16,384	18,061	10,123
減価償却引当特定資産	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000
退職給与引当特定資産	500,000	500,000	500,000	630,422	577,390
有価証券及び定期預金	1,000	1,000	1,000	202,280	401,000
そ の 他	45,440	63,323	69,099	64,439	59,459
流 動 資 産	2,538,947	2,126,743	2,527,245	2,394,195	3,162,028
現 金 預 金	2,075,765	1,990,856	2,434,343	2,102,740	2,380,104
未 収 入 金	128,731	124,204	77,451	77,700	165,471
短 期 貸 付 金	2,398	4,277	4,273	3,970	5,015
有 価 証 券	326,457	0	0	201,020	602,831
そ の 他	5,596	7,406	11,178	8,765	8,607
合 計	13,776,973	13,849,120	13,818,823	13,668,507	14,492,544

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部					
科 目	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末	平成22年度末	平成23年度末
固 定 負 債	486,497	483,446	468,479	630,422	1,577,390
長 期 借 入 金	0	0	0	0	1,000,000
退 職 給 与 引 当 金	486,497	483,446	468,479	630,422	577,390
流 動 負 債	242,813	302,908	355,962	331,094	326,820
短 期 借 入 金	0	0	0	0	0
前 受 金	187,540	191,287	217,918	202,195	204,507
そ の 他	55,273	111,620	138,044	128,899	122,313
負 債 の 部 合 計	729,310	786,353	824,441	961,516	1,904,210
第 1 号 基 本 金	13,071,842	13,523,791	13,426,993	13,403,774	13,387,955
第 4 号 基 本 金	165,000	165,000	165,000	165,000	165,000
基 本 金 の 部 合 計	13,236,842	13,688,791	13,591,993	13,568,774	13,552,955
翌年度繰越消費支出超過額	189,179	626,025	597,610	861,783	964,621
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 189,179	△ 626,025	△ 597,610	△ 861,783	△ 964,621
負 債 , 基 本 金 , 消 費 収 支 差 額 の 合 計	13,776,973	13,849,120	13,818,823	13,668,507	14,492,544

【参考】

正 味 財 産	13,047,663	13,062,767	12,994,382	12,706,991	12,588,334
---------	------------	------------	------------	------------	------------

VI. 主な財務比率(平成19年度～平成23年度)

1. 消費収支関係比率

比率名	算式	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
帰属収支差額比率	$\frac{\text{帰属収入}-\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	0.1%	0.6%	-3.0%	-12.3%	-4.9%
消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	101.3%	122.7%	103.0%	112.3%	104.9%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	73.6%	74.1%	74.5%	75.0%	71.8%
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	47.0%	44.0%	43.5%	51.0%	41.5%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	45.7%	45.9%	49.1%	50.5%	48.2%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	6.7%	6.7%	7.8%	8.1%	7.4%
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	63.8%	59.3%	58.3%	68.1%	57.8%
減価償却費比率	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{消費支出}}$	16.8%	16.5%	17.3%	15.2%	14.7%

2. 貸借対照表関係比率

比率名	算式	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	1045.6%	702.1%	710.0%	723.1%	967.5%
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	5.6%	6.0%	6.3%	7.6%	15.1%
自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	94.7%	94.3%	94.0%	93.0%	86.9%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	81.6%	84.6%	81.7%	82.5%	78.2%
流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	18.4%	15.4%	18.3%	17.5%	21.8%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	5.3%	5.7%	6.0%	7.0%	13.1%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	1106.8%	1040.8%	1117.1%	1040.0%	1163.8%
減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価格(図書を除く)}}$	38.9%	38.9%	41.9%	44.9%	46.8%

※ 自己資金＝基本金＋消費収支差額 総資金＝総負債＋基本金＋消費収支差額

監事監査報告書

平成24年5月15日

学校法人 西日本工業学園

理事会 御中

評議員会 御中

学校法人西日本工業学園

監事

永山 猛 彦



監事

松田 融



私たち監事は、私立学校法第37条第3項および学校法人西日本工業学園寄付行為第15条の規定に基づき、学校法人西日本工業学園の平成23年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）における学校法人の業務および財産の状況について監査を行いましたので、以下の通り報告いたします。

記

1. 監査の方法の概要

私たち監事は、理事会に出席し、理事、法人本部長等から業務の執行状況を聴取するとともに関係書類を閲覧し、業務および財産の状況を監査いたしました。また、福北監査法人から監査状況の報告を受け、計算書類等について検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に対する決定および執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類等（財産目録、貸借対照表および収支計算書）は、学校法人の財産の状況および経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

資 金 収 支 計 算 書

平成23年 4月 1日から

平成24年 3月31日まで

<< 総括表 >>

(単位：円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,720,000,000	1,742,569,000	△ 22,569,000
手 数 料 収 入	21,000,000	23,118,780	△ 2,118,780
寄 付 金 収 入	19,000,000	17,090,000	1,910,000
補 助 金 収 入	317,300,000	360,348,700	△ 43,048,700
国庫補助金収入	317,300,000	346,908,000	△ 29,608,000
地方公共団体補助金収入	0	13,440,700	△ 13,440,700
資 産 運 用 収 入	90,000,000	89,888,943	111,057
資 産 売 却 収 入	800,000	300,800,000	△ 300,000,000
事 業 収 入	45,000,000	37,738,893	7,261,107
雑 収 入	143,600,000	148,803,254	△ 5,203,254
借 入 金 等 収 入	1,000,000,000	1,000,000,000	0
前 受 金 収 入	202,195,210	204,507,000	△ 2,311,790
そ の 他 の 収 入	223,757,976	1,268,635,649	△ 1,044,877,673
資金収入調整勘定	△ 359,161,168	△ 373,009,132	13,847,964
前年度繰越支払資金	2,102,740,328	2,102,740,328	
収 入 の 部 合 計	5,526,232,346	6,923,231,415	△ 1,396,999,069
支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	1,078,047,250	1,060,644,527	17,402,723
教育研究経費支出	867,914,400	803,069,533	64,844,867
管 理 経 費 支 出	182,338,778	171,498,728	10,840,050
施 設 関 係 支 出	343,000,000	330,653,466	12,346,534
設 備 関 係 支 出	61,550,000	50,068,704	11,481,296
資 産 運 用 支 出	301,020,000	2,029,858,186	△ 1,728,838,186
そ の 他 の 支 出	145,151,912	134,101,146	11,050,766
〔 予 備 費 〕	(5,302,428) 14,697,572		14,697,572
資金支出調整勘定	△ 39,525,862	△ 36,767,032	△ 2,758,830
次年度繰越支払資金	2,572,038,296	2,380,104,157	191,934,139
支 出 の 部 合 計	5,526,232,346	6,923,231,415	△ 1,396,999,069

注) 予備費の使用額5,302,428円は、人件費支出3,047,250円、教育研究費支出16,400円、管理経費支出2,238,778円である。

消 費 収 支 計 算 書

平成23年 4月 1日から

平成24年 3月31日まで

<< 総括表 >>

(単位：円)

消 費 収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	1,720,000,000	1,742,569,000	△ 22,569,000
手 数 料	21,000,000	23,118,780	△ 2,118,780
寄 付 金	19,000,000	18,591,769	408,231
補 助 金	317,300,000	360,348,700	△ 43,048,700
国庫補助金	317,300,000	346,908,000	△ 29,608,000
地方公共団体補助金	0	13,440,700	△ 13,440,700
資 産 運 用 収 入	90,000,000	89,888,943	111,057
資 産 売 却 差 額	4,699,000	4,745,000	△ 46,000
事 業 収 入	45,000,000	37,738,893	7,261,107
雑 収 入	143,600,000	148,803,254	△ 5,203,254
帰 属 収 入 合 計	2,360,599,000	2,425,804,339	△ 65,205,339
消 費 収 入 の 部 合 計	2,360,599,000	2,425,804,339	△ 65,205,339
消 費 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	1,035,800,000	1,007,612,975	28,187,025
教 育 研 究 経 費	1,233,914,400	1,168,920,253	64,994,147
(うち、減価償却額)	(366,000,000)	(365,850,720)	(149,280)
管 理 経 費	191,538,778	180,591,953	10,946,825
(うち、減価償却額)	(9,200,000)	(9,093,225)	(106,775)
資 産 処 分 差 額	90,102,749	166,448,895	△ 76,346,146
徴 収 不 能 額	7,617,500	7,617,500	0
徴収不能引当金繰入額	13,270,000	13,270,000	0
[予 備 費]	(17,695,427) 2,304,573		2,304,573
消 費 支 出 の 部 合 計	2,574,548,000	2,544,461,576	30,086,424
当 年 度 消 費 支 出 超 過 額	213,949,000	118,657,237	
前 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	861,783,035	861,783,035	
基 本 金 取 崩 額	20,000,000	15,819,310	
翌 年 度 繰 越 消 費 支 出 超 過 額	1,055,732,035	964,620,962	

注) 予備費の使用額17,695,427円は、教育研究経費16,400円、管理経費2,238,778円、資産処分差額4,552,749円、徴収不能額7,617,500円、徴収不能引当金3,270,000円である。

資産処分差額の内、減価償却引当特定資産処分差額79,363,642円の支出超過は、保有していた一部社債のデフォルトによるもの。

貸 借 対 照 表

平成24年 3 月31日

<< 総括表 >>

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	11,330,515,734	11,274,311,876	56,203,858
有 形 固 定 資 産	8,182,543,074	8,259,109,644	△ 76,566,570
土 地	1,269,130,501	1,269,130,501	0
建 物	5,492,715,051	5,842,364,810	△ 349,649,759
構 築 物	114,341,769	135,452,365	△ 21,110,596
教 育 研 究 用 機 器 備 品	254,996,099	285,039,479	△ 30,043,380
図 書	664,949,485	666,535,117	△ 1,585,632
建 設 仮 勘 定	329,926,866	0	329,926,866
そ の 他	56,483,303	60,587,372	△ 4,104,069
その他の固定資産	3,147,972,660	3,015,202,232	132,770,428
長 期 貸 付 金	10,123,293	18,060,766	△ 7,937,473
減価償却引当特定資産	2,100,000,000	2,100,000,000	0
退職給与引当特定資産	577,390,000	630,422,000	△ 53,032,000
有価証券及び定期預金	401,000,000	202,280,000	198,720,000
そ の 他	59,459,367	64,439,466	△ 4,980,099
流 動 資 産	3,162,028,145	2,394,195,115	767,833,030
現 金 預 金	2,380,104,157	2,102,740,328	277,363,829
未 収 入 金	165,471,300	77,699,958	87,771,342
短 期 貸 付 金	5,014,648	3,969,968	1,044,680
有 価 証 券	602,831,000	201,020,000	401,811,000
そ の 他	8,607,040	8,764,861	△ 157,821
合 計	14,492,543,879	13,668,506,991	824,036,888

負債の部, 基本金の部, 消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	1,577,390,092	630,421,644	946,968,448
長 期 借 入 金	1,000,000,000	0	1,000,000,000
退 職 給 与 引 当 金	577,390,092	630,421,644	△ 53,031,552
流 動 負 債	326,819,938	331,094,261	△ 4,274,323
前 受 金	204,507,000	202,195,210	2,311,790
そ の 他	122,312,938	128,899,051	△ 6,586,113
負 債 の 部 合 計	1,904,210,030	961,515,905	942,694,125
第 1 号 基 本 金	13,387,954,811	13,403,774,121	△ 15,819,310
第 4 号 基 本 金	165,000,000	165,000,000	0
基 本 金 の 部 合 計	13,552,954,811	13,568,774,121	△ 15,819,310
翌年度繰越消費支出超過額	964,620,962	861,783,035	102,837,927
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	△ 964,620,962	△ 861,783,035	△ 102,837,927
負 債 の 部 , 基 本 金 の 部 , 消 費 収 支 差 額 の 合 計	14,492,543,879	13,668,506,991	824,036,888

【参考】

正 味 財 産	12,588,333,849	12,706,991,086	△ 118,657,237
---------	----------------	----------------	---------------

- (注) 1. 徴収不能引当金計上額 16,410,000円(未入金等の徴収不能に備えるため)
2. 担保に供されている資産 土地: 379,969,555円 建物:2,932,761,888円
3. 退職給与引当金の額の算定方法は、期末要支給額721,725,250円の100%を基にして、私立大学退職金財団掛金・交付額との差額を加減した金額を計上
4. 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リースは次の通り
リース料総額49,332,780円 未経過リース料期末残高8,411,550円
5. 減価償却引当資産・退職給与引当特定資産及び有価証券のうち、有価証券保有金額は3,207,493,771円で、年度末の時価総額は2,865,067,180円であり、計上総額より時価額が342,426,591円下回っている
6. 本学園が債務保証を行っているものは教職員の銀行借入金2,423,112円
7. 正味財産は、資産の部合計－負債の部合計の金額

財 産 目 録

<<総括表>>

I. 資産総額	14,492,543,879 円
内、（一）基本財産	8,237,384,048 円
（二）運用財産	6,255,159,831 円
II. 負債総額	1,904,210,030 円
III. 正味財産	12,588,333,849 円

科 目	平成23年3月31日
I. 資産額	
一 基本財産	
1 土 地	
おばせキャンパス	142,374 m ² 784,080,501 円
小倉キャンパス	996 m ² 485,050,000 円
2 建 物	
校舎等(おばせキャンパス)	37,168 m ² 2,950,843,659 円
校舎等(小倉キャンパス)	12,503 m ² 2,541,871,392 円
3 構築物 (おばせキャンパス)	114,341,769 円
4 教育研究用機器備品	254,996,099 円
5 その他の機器備品	52,895,443 円
6 図 書	148,822 冊 664,949,485 円
7 建設仮勘定	329,926,866 円
8 その他	58,428,834 円
計	8,237,384,048 円
二 運用財産	
1 現金預金	2,380,104,157 円
2 減価償却引当特定資産	2,100,000,000 円
3 退職給与引当特定資産	577,390,000 円
4 定期預金	300,000,000 円
5 有価証券	703,831,000 円
6 貸付金	15,137,941 円
7 未収入金	165,471,300 円
8 その他	13,225,433 円
計	6,255,159,831 円
資 産 総 額 合 計	14,492,543,879 円
II. 負債額	
一 固定負債	
1 借入金	1,000,000,000 円
2 退職給与引当金	577,390,092 円
二 流動負債	
1 前受金	204,507,000 円
2 その他	122,312,938 円
負 債 総 額 合 計	1,904,210,030 円